

平成27年度第1回理事会議事録

1. 期 日 平成 27 年 5 月 10 日(日) 10 時から 12 時まで

2. 会 場 弘前大学医学部附属病院 中央診療棟地下一階 症例検討室

出席 8 / 12 66.7%

稲葉孝典	工藤亮裕	船水憲一	福土正広	森脇公洋	藤森 明	西村秀行	片岡郁美
○	○	×	○	○	○	×	×

三浦隆司	澤橋政美	石倉牧人	成田将崇	監事	長内恒美	岩瀧昌善
○	×	○	○		○	○

稲葉会長が議長を務め、議事録作成人に石倉理事、議事録署名人に福土理事を指名し、理事会を開催した。

【報告】

1. 公 2：診療放射線技師の資質向上に関する事業

① 第 3 回青森乳腺診断フォーラム

(4 月 11 日弘前大学医学部コミュニケーションセンター)

別紙資料に基づき稲葉会長が報告

医師 19 名、診療放射線技師 19 名、臨床検査技師 20 名、その他 10 名 計 68 名

症例検討が 4 施設でモニター診断のため、賛助会員など 4 社から機材を、またアロカから超音波装置を借用した。

② 東北 MRI 研究会について

別紙資料に基づき稲葉会長が報告

東北 MRI 技術研究会、青森県 MRI 研究会、青森県診療放射線技師会、バイエルとの 4 社共催とすることとなった。

2. 法人関係

期末監査報告

別紙資料に基づき長内監事が報告

平成 26 年 12 月 6 日（土）技師会事務所で 9 時から 12 時 40 分まで平成 26 年度中間監査を実施した。また平成 27 年 4 月 26 日（日）技師会事務所で 9 時から 12 時まで平成 26 年度期末監査を実施した。

その方法及び結果について

(1) 監査方法の概要

①業務監査について、各理事から業務の報告を聴取、また関係書類の閲覧等業務執行の妥当性について検討した。平成 27 年度定時総会資料について、正確に記載されているか確認した。

②柳谷公認会計士と会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行った。当該年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討した。

(2) 監査結果並びに意見

①理事の職務執行に係る不正行為はなく、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。

②計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める。

③受取文書の整理は日付順で行われているが、事業ごとに区別した方が見やすい。27 年度から改善をお願いしたい。銀行間の入金項目を項番で整理してほしい。

【議案】

別紙資料に基づき稲葉会長が報告。

1. 平成 26 年度事業報告

事業比率 公益事業：59.6% 公 1：7.1%、公 2：23.3%、共通 29.2%、その他 1：2.3%、法人会計：38.1%

(1) 公益目的事業について

① 健康展における普及啓発

〈第 28 回「弘前市民健康まつり」〉 7 月 12 日（土）・13 日（日）の両日、弘前市民健康まつりが開催された。12 日 総来場者数 977 名 技師コーナー来場者 624 名、骨密度測定 570 名 スタッフ：藤代健生病院 鎌田技師長はじめ 8 名 賛助会 7 名参加
13 日 総来場者数 931 名 技師コーナー来場数 570 名 骨密度測定 400 名 スタッフ：藤代健生病院 鎌田技師長はじめ 11 名 賛助会 5 名参加。

② ピンクリボンキャンペーン活動

〈Aomori Pink Ribbon Project〉 10 月 19 日（日）青森市サンロード青森イベントホールで開催。一般 参加者約 400 名で盛況に終了した。本会は骨密度などを担当。片岡理事ら 13 名の診療放射線技師がスタッフとして参加した。10 月中本会の名前がラジ

オで流れた (FM 青森ピンクリボンキャンペーンに共催)。

- ③ 原子力防災に関する事業
〈平成 26 年度原子力防災訓練(東通原子力発電所対象)〉 11 月 8 日(土)青森県総合学校教育センター体育館を会場に開催された。本会はスクリーニング会場でサーベイメータを使用した放射線汚染検査訓練に参加した。10 名(技師会会員 7 名 非会員 3 名)

- ④ ホームページ 各事業の案内や報告、理事会の議事録を掲載した。

(2) 個別事業の内容について

- ① 青森県診療放射線技師学術大会
平成 26 年 6 月 15 日(日) 10 時 00 分～15 時 00 分 青森県労働福祉会館 会員 28 名 賛助会 22 名 その他 28 名 計 78 名参加。診療放射線技術の向上と放射線医療及び放射線障害防止に関する事業を行うことで会員の知識向上を図ることを目的として実施した。

- ② 第 15 回青森CT・MRI 診断・技術研究会
平成 26 年 5 月 10 日(土) 14:00-17:00 弘前市文化センター 医師 12 名 診療放射線技師 106 名 賛助会 4 名 計 122 名

- ③ 血管模型講習会
第 6 回冠動脈模型・第 5 回脳血管模型・第 2 回腹部血管模型作製講習会
平成 26 年 12 月 13 日(土) 八戸市立市民病院 2 階講堂 9:00～18:00

- ④ 青森県放射線治療技術研究会
第 29 回青森県放射線治療技術研究会 平成 26 年 11 月 1 日(土) 13:00～17:30 青森県立中央病院 診療放射線技師が 46 名 教官・学生 3 名 医師 3 名 看護師 1 名 業者 10 名 合計 63 名参加

- ⑤ 青森県MRI 研究会
第 115 回青森県 MRI 研究会
平成 27 年 1 月 31 日(土) 14:00～17:30 弘前大学医学部 臨床大講義室
参加者: 71 名

- ⑥ 学術委員会研修会
新旧役員懇談会
平成 26 年 6 月 14 日(土) 青森県労働福祉会館 13:00～14:00 11 名参加

- ⑦ 青森県生活習慣病検診従事者指導講習会
平成 26 年度青森県生活習慣病検診従事者指導講習会
平成 26 年 10 月 18 日(土) 10 時～20 時 青森市民病院・ホテル青森

- ⑧ フレッシュアップセミナー
昨年度は行ってない、今年度は行う予定。

- ⑨ 青森県 CT 研究会
第 1 回青森県 CT 研究会

平成 27 年 3 月 7 日 (土) 13:30~18:40 青森観光物産館アスパム 診療放射線技師 県内 88 名 県外 7 名 賛助会 12 名 医師 1 名 計 108 名参加

⑩ 青森乳腺診断フォーラム

第 2 回青森乳腺診断フォーラム

平成 26 年 4 月 19 日 (土) 15:00~18:00 リンクステーションホール青森 (青森市文化会館) 医師 18 名 臨床検査技師 1 名 診療放射線技師 34 名 その他 3 名 計 56 名参加

(3) その他の事業 (相互扶助等事業)

[事業の内容]

① 会員に対する傷害保険として損害保険会社と契約した。

② 会員本人が死亡した際に、弔電又は供花を行う。

物故会員 成田一雄副会長 (平成 26 年 4 月 29 日) 葬儀に献花及び弔電を行った。

平成 26 年度総務関係

[会員]

県技師会 年度当初会員数 287 名 入会 13 名、転入 4 名、転出 2 名、退会 11 名、除籍 6 名、合計 285 名

日放技 年度当初会員数 283 名 入会 7 名、転入 4 名、転出 2 名、退会 11 名、除籍 7 名、合計 274 名

1. 平成 26 年度理事会

第 1 回 平成 26 年 6 月 15 日 (日) 16:10~16:20 青森県労働福祉会館

概要: 会長・副会長の互選 定時総会で、監事及び役員全員が承認された。採決の結果、稲葉会長再任が全員賛成し承認された。稲葉会長から副会長として、工藤亮裕、船水憲一両名が指名された。採決の結果、全員賛成し承認された。

第 1 回電子的記録による議決 「放射線看護専攻教育課程の申請について」

平成 26 年 6 月 28 日~7 月 1 日まで実施した電子的記録による議決を行った。弘前大学医学部保健学科から本会の推薦依頼によるものである。入手資料を電子記録で送付し、各理事の採決を行った。

第 2 回 平成 26 年 8 月 30 日 (土) 10:00~11:50 12:30~14:00 青森市民病院

概要: 事業及び会務報告と代表理事活動報告

第 3 回 平成 26 年 12 月 7 日 (日) 13:20 分~15:20 ライオンズマンション新町通

概要: 平成 27 年 6 月 13・14 日 青森市民病院でフレッシューズセミナー開催を承認 (後日日程調整で 6 月 20 日の変更) その他事業報告、会務報告の他、事業検討が協議された。

第 4 回 平成 27 年 3 月 8 日 (日) 12:00~14:30 青森市民病院

概要: 学術大会・総会の日程について会長から日程の調整で以下の開催を一週間遅らせることが説明された。

【監査】

以下に示す3回行っている

1. 平成26年4月13日(日) 平成25年度期末監査
2. 平成26年12月6日(土) 平成26年度中間監査
3. 平成27年4月26日(日) 平成26年度期末監査

【公益法人関係】

- ・平成26年4月28日 青森市法人市民税減免申請(法人市税50,000円) 同日本店所在地を変更届 東青地域県民局・青森市
- ・平成26年6月24日 公益社団法人報告等の提出
- ・平成26年7月1日 法人登記(役員変更の届出)
- ・平成26年11月13日 変更届 選任した理事等の変更(役員の任期満了に伴う改選のため)については届け出を忘れており県から指摘を受けた。
- ・平成27年3月27日 公益社団法人事業計画等提出

2. 平成26年度会計報告

決算報告

別紙資料に基づき福土理事が報告

(1) 貸借対照表の前年度と今年度の比較

(2) 正味財産増減計算書

(3) 附属明細書

(4) 財産目録

(5) 未収会費処理

昨年度末では正会員で15名、賛助会員で2社が未収であった。

(6) 収支計算書

3. 平成27年度予算 補正案について

別紙資料に基づき稲葉会長が報告

青森県から総会資料は管理費支出と指摘を受けた。期末監査前に柳谷公認会計士にも相談し同様に指摘を受けた。すでに26年度第4回理事会で承認を得た予算なので補正案を提出し承認を得たい。

詳細を別紙資料に基づき福土理事が報告

印刷製本費360,000円を260,000円に減額、差額の100,000円を管理費として法人会計の印刷製本費110,000円から210,000円に補正。法人会計の賃借料10,500円から10,800円に補正した。これに伴い事業比率が共通で36.9%から34.6%に、法人会計の部分が29.33%から31.7%になった。

補正案について全会一致で了承。

4. 公益社団法人青森県診療放射線技師会会費納入規定の

改正について

別紙資料に基づき稲葉会長が報告

今年度から本会のみの入会を認めるところ多くの入会を見込めるようになった。反面、定年退職者の退会はほぼ全員である。対策として永久会員の年齢資格を65歳以上から58歳以上に変更することで現職中の手続き終了を促したい。JARTは55歳以上である。全会一致で了承。

報告

① 27年度叙勲について

別紙資料に基づき森脇理事が報告

叙勲Ⅰ類について追加の条件あり、それは「市郡の理事歴がない場合は、県の理事以上歴20年以上」がある、石田 晃氏はこれに達していないため今回はⅡ類での推薦とならざるをえない。石田 晃氏、鈴木 清蔵氏、鎌田 齊氏について地区技師会役員歴の調査が必要である。

② 第5回東北放射線医療技術学術大会放射線管理士分科会について（森脇）

東北地区長からシンポジウムの依頼があり各県の取り組みについてということで青森県は緊急被ばく医療について発表してほしいと提案された。その日森脇理事は別件があり参加することができないと報告あり、稲葉会長が出席ということで了承。

以上で理事会を終了した。

本書は議事録に相違ない

平成27年10月31日
青森市安方二丁目17番15-802号
ライオンズマンション新町通
公益社団法人 青森県診療放射線技師会

議事録作成人 石 倉 牧 人

議事録署名人 福 士 正 広

代表理事 稲 葉 孝 典

監事 長 内 恒 美

監事 岩 瀧 昌 善